

開催にあたって

御文庫講^{おぶんここう}は創立300年を迎えました。300年前というとちょうど享保年間、暴れん坊将軍・徳川吉宗の時代です。本の世界も和綴本^{わとじぼん}から電子書籍にいたるまで、その変遷には目を見張るものがあります。

御文庫講^{おぶんここう}の最近の活動としましては、戦中・戦後長らく途絶えていた、住吉大社と大阪天満宮における蔵書の虫干し^{ばくしよ}（曝書）や、天神祭の船渡御・陸渡御^{おぶんここう}があります。現在の御文庫講^{おぶんここう}の活動は30年前の復活から始まったことが基本となっています。

300年という記念の時を迎え、私たち講員は今後の400年、500年とつなげていけるようしっかりせい、と命じられているのだと思っております。

ここまで御文庫講^{おぶんここう}を育てていただいた住吉大社、大阪天満宮、先輩版元の皆さんほか関係各位に深く感謝申し上げる次第です。

令和5年10月吉日

大阪書林御文庫講^{おぶんここう}講元 藤波 優